

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 057	提案機関名 一般社団法人神奈川県養豚協会
要望問題名 豚ふん(畜ふん)由来堆肥を化学肥料の代替にする栽培方法の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 近年、化学肥料価格の上昇や入手困難の状況が生じている。 そこで、身近にある有効な肥料「豚ふん(畜ふん)堆肥」を化学肥料に置き換え、生産性も向上させる農法(栽培方法)の確立を願いたい。 また、そのために堆肥の肥料成分を簡易に測定できる体系・手法を確立していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 混合堆肥複合肥料(エコレット)の施用効果の解明		
対応の内容等	豚ふん堆肥のみで化学肥料の代替は不可能ですが、豚ふん堆肥を配合した混合堆肥複合肥料については、連用試験を実施済みです。4年間実施した結果では、収量の向上および地力窒素の増加が認められています(令和2年度農林水産関係試験研究成果「混合堆肥複合肥料の連用効果の評価」)。 また、堆肥の簡易分析法については、備考を参考にしてください。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	堆肥等有機物分析法(2010年版)：(財)日本土壌協会		